

そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園だよりNo. 6

2020年11月30日発行

11月の聖句『喜び人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。』

(ローマの信徒への手紙12章15節)

わたしが長野市で牧師をしていたとき、体調を崩したことがありました。そのことを知って、遠く岩手県二戸から駆けつけてくれた友がいます。予告もなく突然あらわれた友に、わたしはびっくり。その友は「来ちゃったよ」と言って……わずか30分ほどで岩手に帰ってゆきました。30分のために…。

彼もまた、キリストの福音に生きる牧師さんです。いまは愛媛県の小さな教会に仕えています。

チャプレン 池田亨

自分を明るくする方法を知っている人

園長 菊地 和子

いつも明るい人っていますよね。

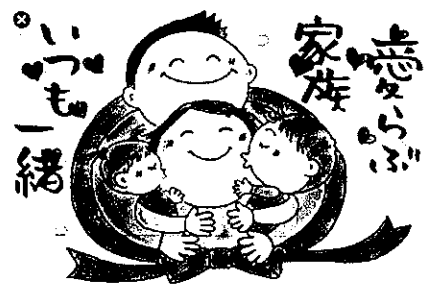
とても賑やかで周りの人を笑わせてくれる人。または、もの静かだけどいつも平和で、ホッとさせてくれる人。または、キビキビと忙しくちょっと怖そうだけど、人には公平で、いつも前向きな考えで語る人。・・・ほかにもいろいろな「明るい」人の姿があると思います。

「明るい」お父さんやお母さんが家庭にいてくれたら、お金や時間が足りなくても、子どもたちの心は安定します。「よし、今日から人の悪口を言わないぞ!」とお母さんが決心するだけでも、その家庭が未来永劫、断然明るくなりますし、「自分より弱い人を思いやる!」とお父さんが決心するだけでも、家族への言動が変わったり、選ぶゲームの種類が変わったり、家庭内の暴力や暴言が代々なくなる可能性が高くなると思います。

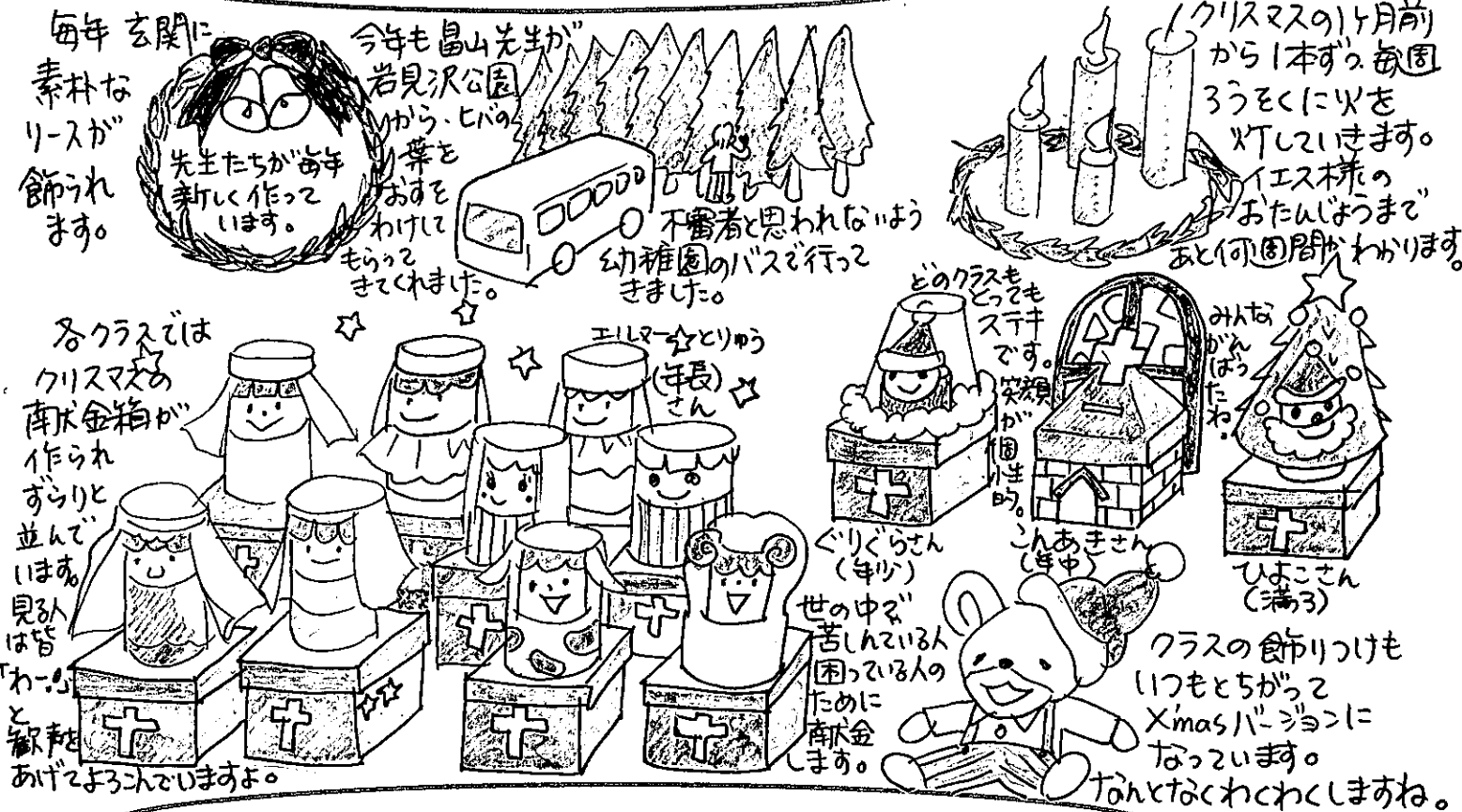
今日の大人の決心が、何もかも吸収する子どもたちの、将来の幸せを創り出します。

私たちの幼稚園がキリスト教保育をしているのも、2000年も前に生まれた一人の人、イエス様がそのころ社会の中でさげすまれたり、邪魔者扱いされていた女の人や子ども、感染すると思われていた病気のひとなどを徹底して大切にされた生き方に今も驚き、感動するからです。現代でさえも、実現できていないことを、仏教やイスラム教よりもずっと古い時代、人々に訴えていたことに驚きます。

今、家庭内の暴力があまりにも増えていますよね。どうか小さな平和が家庭の中で実現されていきますように!

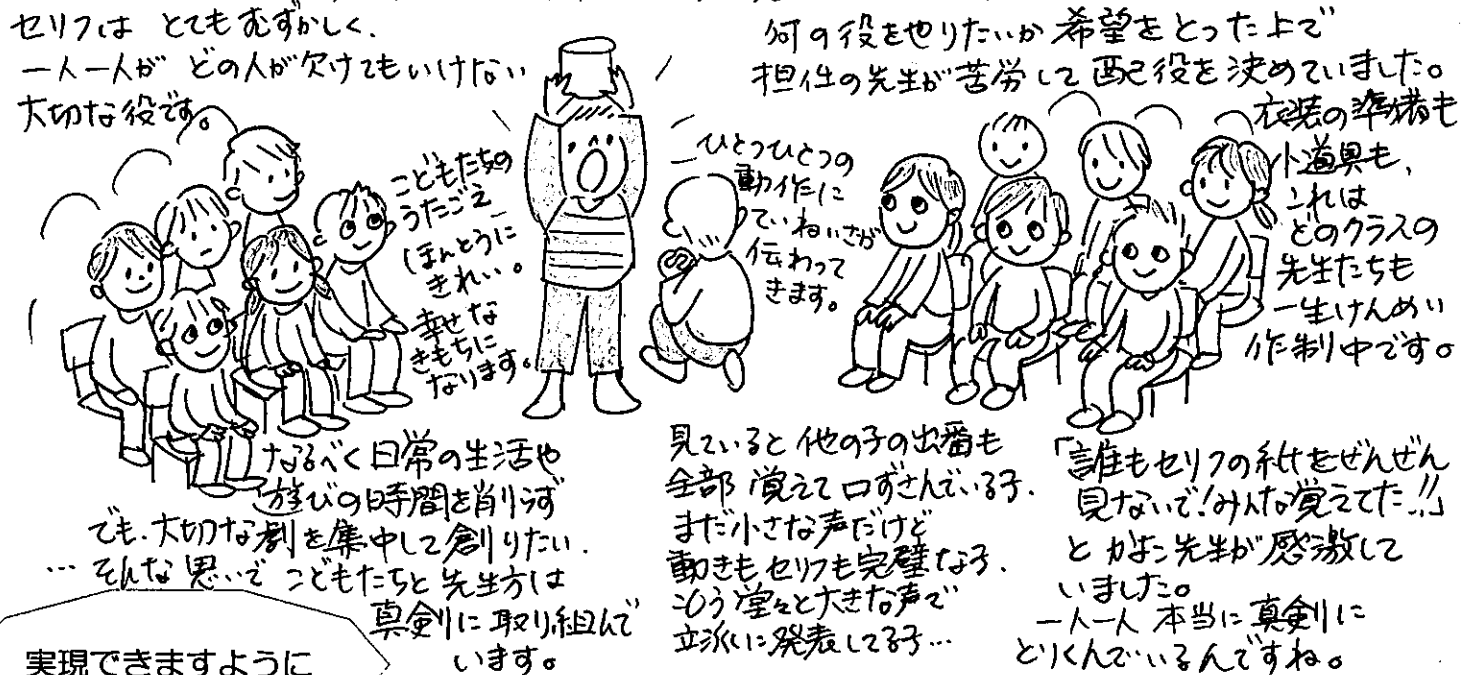


クリスマスに向けての準備が始まっています



短い時間の中での練習ですが、キラリと光っています

年長さんは、イエス様のたん生したクリスマス表現した聖誕劇に挑戦します。



実現できますように

聖誕劇とクリスマス祝会の参観人数を、各家庭1名に決定したこと、本当に申し訳ありません。おうちで大泣きした子、お父さんとお母さんどっちに来てほしいか聞かれた子、家族で参観できず本当にかっかりしたことでしょう。もし幼稚園以外の場所を借りると子どもたちの日常はどうなるかを検討したり、先生方が様々に椅子の並べ方を試してみても、ぎりぎりまで考えた末の苦渋の決断でした。申し訳ありません。それでも当日が来るまでは、実現できるのか誰にもわからないのです。どうか子どもたちの経験がこれ以上減りませんように…